



一般社団法人

日本画府

日府展洋画部だより No. 4 2017. 8. 16

総務佐藤勝昭

日府展洋画部からのお知らせ

洋画部長 塚田 稔

猛暑が続きますが、皆様にはご健勝にてお過ごしのことと存じます。第 64 回日府展の「東京展」「名古屋展」ともに無事終了しました。東京展の搬入受付・写真撮影・図録作成・審査補助・展示作業・表彰式・レセプション・ギャラリートーク・市民講座・懇親会等々さまざまな作業にご協力いただきありがとうございました。また、名古屋展の展示・表彰式などにご協力いただいた方にも感謝します。

第 64 回日府展 東京展は約 8,000 名の入場者を得て盛会裡に終了しました。

第 64 回東京展は、文化庁・東京都・東京新聞・毎日新聞西部社会事業団の後援を受けて、5 月 19 日～27 日の 9 日間にわたり開催されました。期間中の入場者は、7,971 名でした。昨年より 946 名減でしたが、昨年は期間中に日曜が 2 回あったが、今年は 1 回だったことが原因のようです。

東京展の初日午後、ギャラリー・トークを開催しました

初日 19 日（金）午後 1 時 30 分より、洋画部アドバイザー・篠原一成氏（評論家、全日本美術新聞）を講師として、ギャラリー・トークが開催されました。出品者・一般入場者合わせて約 40 名が参加しました。展示作品に対する作家自身の解説のあと、講師および審査員による講評がありました。一般入場者から、解説があつてわかりやすいと好評でした。参考意見として作家活動に役立ててください。



市民講座「絵画技法と画材の話」を開催しました

会期中の 21 日（日）午後 2 時より東京都美術館講堂において、市民講座「絵画技法と画材の話」が開催されました。講師は、洋画部の塚田稔・佐藤勝昭の 2 人でした。約 80 名の聴講者がありました。

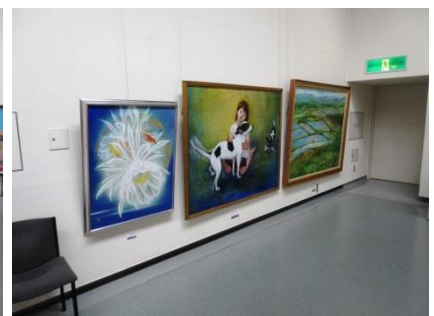
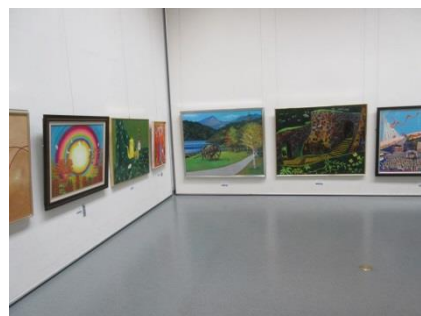
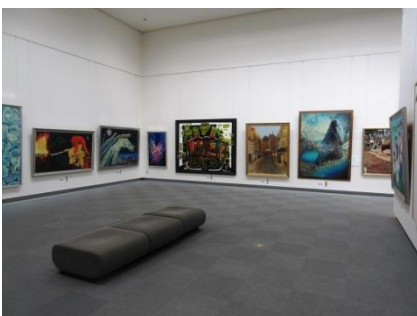


洋画部 部会・洋画部懇親会が開催されました

21 日（日）の市民講座終了後、引き続き講堂にて、洋画部の部会が開催されました。夕刻 洋画部員及び日府展出品者皆様の親睦を深め、今後の制作活動への活力としていただくため、「かよい路」上野店で洋画部懇親会が開催されました。

第 64 回日府展名古屋展は約 6,000 名の入場者を得て盛会裡に終了しました。

64 回展名古屋展の会場は昨年より 1 室増え H・I・G の 3 室となりました。



秋季洋画部展は9月4日～10日 ギャラリーくぼた

会場：ギャラリーくぼた4F、5F（104-0031 東京都中央区京橋2-7-11）

会期：9月4日（月）～9月10日（日）

時間：11時～18時30分（最終日は15時終了）

搬入：9月3日（土）17：00 搬入後飾り付け

（宅配便利用の場合16-18時の着指定でギャラリーくぼた4F／5F日府展秋季洋画部展 明記）

搬出：9月10日（日）15時

オープニングパーティ：9月4日16時～ 4F会場にて

担当：橋口美子、宮澤賢一、大野雅生

洋画部秋の写生旅行

日時：10月29日・30日・31日

2泊3日（1泊もOK）

場所：長野県信濃町、奥信濃、野尻湖、妙高高原近辺

交通：東京一（北陸新幹線）－上越妙高－（在来線）－妙高高原 ～ 車で送迎

宿泊：ロッヂハタノ 1泊1万円

世話人：松林節男

（一社）日本画府7月理事会報告

第64回日府展について、青木事業局長から報告がありました。

東京展の作品点数は、日本画49、水墨画43、洋画58、彫塑14、工芸41、写真30の計235点でした。

入場者は7,971名でした。

関連事業として、下記のものが行われました。

洋画：ギャラリートーク・市民講座、日本画：墨彩画、工芸：和紙絵、水墨画：席画

名古屋展の作品点数は、日本画37、水墨画34、洋画37、彫塑7、工芸37、写真12、計162点

入場者は6,087名でした。

外部委嘱審査委員清水康友氏と事業局長・事務局長の面談がありました。

本年度の審査はよかったとの総評がありました。

64回展の改善点・問題点・反省点につき浅野事務局長から報告がありました。

キュレーターシステムが導入され、展示作品のデータ検索が容易になったとのことでした。

日本画府会員数の推移のグラフが示され、日本画部の会員減少のため、全会員数の減少に歯止めがかからないという報告がありました。

平成29年度の予算執行状況について佐藤経理部長から、3～5月期の執行状況は概ね予定通り推移しているとの報告がありました。

第65回記念展に向けての検討課題が話し合われました。東京都以外の後援をとるための申請活動の要請がありました。名古屋展について、愛知県美術館が来年休館するので、稲沢市荻須記念美術館を6/12-17の会期を押さえたとの報告があり、大きな作品が展示できないので、再度検討することになりました。

運営規則改正案が審議され、所定の会費を納入することができない場合の会費減額願、及び、分割納入願書を前年度2月までに出すこと等が決定されました。